

新城設楽普及だより

令和6年 新春号

新城設楽農林水産事務所

農業改良普及課 北設楽郡設楽町田口字小貝津6-2

TEL: 0536-62-0546 FAX: 0536-62-1533

新城駐在室 新城市字石名号20-1

TEL: 0536-23-2172 FAX: 0536-23-6010

メール(共通) shinshiroshitara-fukyu@pref.aichi.lg.jp

新年の御挨拶

新年にあたり、謹んで御挨拶を申し上げます。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症も5類感染症に引き下げられ、ウィズコロナ、アフターコロナのステージを迎えておりますが、終わりのみえない状況が続いています。

こうした中、国ではスマート農林水産業等による成長産業化、農林水産物・食品の輸出促進、農林水産業のグリーン化、食料安全保障を農林水産政策の四本柱として展開することとしております。農業改良普及課では、新城・設楽地域の農業振興と農業者を支援するため、「意欲のある担い手の確保・育成」「産地の収益力向上に向けた取組の支援」「環境と安全に配慮した持続可能な農業の推進」「活力のある地域づくりに向けた取組支援」等を市町村・関係団体と連携し、引き続き実施してまいります。

本年も協同農業普及事業の運営に御理解と御協力を賜りますようお願いするとともに、皆様の益々の御健勝を祈念申し上げ、御挨拶とさせていただきます。



課長
井上 勝弘

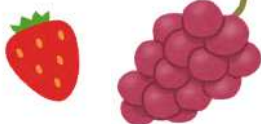
三士の新規認定者の御紹介

令和5年11月22日に認定式が愛知県庁で開催され、愛知県知事から農業経営士1名の方が認定されました。地域農業の発展、地域づくりの活動に寄与していただくことが期待されます。



新規認定者の概要

- ・新城市
- ・イチゴ、ブドウ



森野 哲明氏

(もりの のりあき)

愛知県農業経営士協会50周年記念大会小山氏知事表彰受賞!



元新城設楽支部新城分会の小山嘉之氏は愛知県農業経営士協会の10年間の役員(理事8年、副会長2年)の功績が評価され、愛知県農業経営士会50周年記念大会にて知事表彰状を受賞されました。

＊ 新たな「囲いわな」でシカを捕獲！

北設楽地域は、面積の多くを山林が占め、近年、野生鳥獣（主にニホンシカ）による農作物の被害が拡大し問題となっています。多くの集落では、集落全体をワイヤーメッシュなどの侵入防止柵で囲ったり、個々の田畑を電気さくで囲うなどの対策を講じていますが、なかなか被害が減りません。

農業改良普及課では、昨年度から東栄町川角地区の農家と猟師の御協力のもと、愛知県農業総合試験場が開発した、「立木ネット囲いわな」によるシカの捕獲試験を行っています。昨年は時期が遅く捕れませんでしたでしたが、今年は捕獲時期、捕獲場所、仕掛け等を改善して取り組んだ結果、12月11日に捕獲することができました（右写真）。

＊「立木ネット囲いわな」とは、立木を柱にして長さ24mの防鹿ネットで囲ったわなです。わなの中にエサを置き、ネット下の隙間からシカが入ると出られなくなる仕組みで、箱わなに比べ軽量で運びやすく、設置費が安いのが特徴です。



「囲いわな」に入った2頭の雌シカ

新規就農者向けセミナーを開催

農業改良普及課では、新規就農者等を対象に地域定着支援セミナーを年2回、秋に開催しています。今年は、10月5日、26日に開催し、延べ17名が参加しました。参加者は来年就農予定あるいは就農後1～2年の20～40代の農業者の皆さんで、作目はトマト、イチゴ、ブドウでした。

第1回は、税理士法人Agataの安形京子氏を講師として招き、セミナーが開催されました。安形氏は、農業経営開始時には開業届を税務署に提出する必要があること、開業時の帳簿の作り方、日々の簿記記帳の進め方等を説明しました。

第2回は、社会保険労務士法人リライアンスの鈴木泰子氏を講師として招きました。鈴木氏は、働き方や雇用形態の違い、労災保険や雇用保険、労働基準法の農業での適用除外、特定技能制度等を説明しました。

参加者の皆さんからは積極的に質疑応答がされて、有意義なセミナーとなりました。



座談会形式で学ぶ参加者

新城農業者のつどいを開催

新城市では、愛知県農業経営士協会新城分会、愛知県農村生活アドバイザー協会新城分会、農村輝きネット・しんしろ、新城青年農業士会、新城市4Hクラブの会員が一堂に会し、「新城農業者のつどい」を毎年開催しています。

今年度は11月24日に静岡県浜松方面への視察研修を行い、農家レストランとんきい、株式会社カクト・ロコを訪問しました。

とんきいでは、ソーセージづくり体験を通じて会員間の親睦を深めるとともに、養豚業における加工品開発や耕畜連携の取組を伺いました。

また、多肉植物を生産販売するカクト・ロコでは、働きやすい職場づくりや人材育成の取組を学んだほか、同社直営店のサボテンランドを視察しました。

当日は16名が参加し、他県の優良事例を学ぶとともに、現地視察や農産加工体験等を和気あいあいとした雰囲気で行うことができ、会員間の交流にとっても良い機会となりました。



農業経営事例の説明を聞く参加者